

知っとくと **得** 情報 = 税の豆知識 =

税理士

山岡 修治

〒101-0047
千代田区内神田1-2-2
小川ビル7階
神田合同税理士事務所
TEL 03(3518)2711(代)
FAX 03(3518)2712
携帯 090(2212)0306
e-mail higumasy@d6.dion.ne.jp



今回の知っとくと得情報～税の豆知識～は、円安ドル高により注目されている金ですが、その中でもちょっと小粒な「砂金」についてお話しします。**最近、砂金採掘体験レジャーが人気だそうです。**世界各地で古くから愛されてきた金は、キラキラと輝ききらびやかな様子に、たくさんの方が魅了されてきました。また、金は美しいだけの金属ではありません。ほかの金属にはない特殊な性質を持っているため、日常生活のさまざまな場面で便利に活用されています。日本でも世界でも古くから特別視されてきた金ですので、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

金の誕生は？

そもそも金は何故この地球上に存在するようになったかですが、それを明らかにするためには、時間を138億年さかのぼり、ビッグバンから話を始める必要があります。世の中の物質はすべて元素でできており、金も元素の一つで元素番号79です。宇宙に最初に発生した元素は水素とヘリウムだと言われています。それを作り出したのがビッグバンです。ビッグバンのあと宇宙は水素とヘリウムで満たされていましたが、それが徐々に集まってガスの塊ができ、やがて恒星へと成長していきます。恒星の中では恒星内元素合成という現象が起こり、高温高压になった恒星の中心部で元素同士が衝突することによって核融合反応が起き、新しい元素が合成されエネルギーが放出されます。この時点では鉄までの元素が合成されましたが、その後、恒星は超新星爆発を起こし、さらに中性子星の衝突によって、鉄よりも重い元素がこの時に作られました。金が出来たのはこの時と言われています。

金はなぜ地球上に存在するのか？

中性子星の衝突によって生まれた金ですが、宇宙空間を浮遊し、金を含むチリが集まって星を形成しました。地球にある金の大部分は約40億年前に起きた隕石群の衝突によって降り積も

ったと考えられています。地球内部に存在していた金は、その後、地殻変動によって移動したり、微生物によって凝縮されて鉱脈となり、その一部はさらに移動して地表に露出し、それが風雨にさらされて風化し砂金となりました。

砂金採掘体験が全国各地で活況

国内最北端の稚内空港からオホーツク海沿いに南東へ車を走らせると、**明治から昭和にかけて砂金採掘で栄えたウンタンナイ砂金採掘公園(北海道浜頓別町)**があります。今年の7月には、“ゴールドラッシュ”を夢見た老若男女が多数集まりました。このウンタンナイ砂金採掘公園は1985年(昭和60年)に、地元の青年が発起人となり100年前のゴールドラッシュの史実を伝える砂金採掘体験レジャー施設として作られました。

他の地域でも砂金採掘体験が活況です。

- ①湯之奥金山遺跡(山梨県身延町「信玄の隠し金山」として有名)、
- ②佐渡西三川ゴールドパーク(新潟県佐渡市「上杉謙信の軍資金」としての噂があります)、
- ③土肥金山アミューズメントパーク(静岡県伊豆市「足利幕府が採掘」したようです)等に、多数の人が集まり砂金採掘体験を楽しみました。

金は有事の安全資産とされ、円建ての金価格は高止まりしています。砂金でもまとまった量ならオークションや宝飾品店などで数万円で売却できる場合があるそうですが、鉱業権の問題があり、くれぐれも趣味の範囲を逸脱しないようお願いいたします。

ウンタンナイ砂金採掘地の歴史

ウンタンナイ砂金採掘公園がある北海道浜頓別町北見枝幸地方は、明治期に日本のゴールドラッシュと言われるほどの金の産出量と、採掘者が集結し、日本最大の769g(世界一は27.7kg)の金塊が見つかった日本の砂金の歴史を語るうえで重要な土地です。日本の鉱物資源に関する法律は、1890年(明治23年)の「鉱業条例」により制

定が始まりましたが、砂金、砂鉄は対象外でした。その後、1893年(明治26年)に制定された「砂鉱採取法」により砂金が国家財産の鉱物になりました。つまり、この時点から砂金を採取するのに国の許可が必要になりました。ウンタナイ地方の鉱区着業以来の総産出量は550貫(2,062kg)、2トンにもなります。1931年(昭和6年)頃に金価格の高騰や、幹線道路の開通があり再びゴールドラッシュに沸いたと言いますが、それ以降1952年に藤田鉱山が閉山するまで細々と採掘は続き、ゴールドラッシュは幕を閉じています。

砂金掘りの法律行為は？

鉱業法第7条では、「**いかなる鉱物資源も鉱業権がなければ採取してはならない**」と規定されています。つまり、鉱業法は「業」としての砂金掘りを対象にしていますので、趣味の砂金掘りはそもそも鉱業法の想定する対象外と考えられます。しかし、**趣味の範囲を逸脱すれば違法行為となります**ので注意することが必要です。本格的に砂金掘りを行うとした場合は、管轄する都道府県の森林管理署に入林届を提出します。その後、鉱業権を取得する必要がありますが、漁業権者との問題があるとともに、採算の可能性が低く、専門的に行うにはハードルが高いと思われるます。

砂金採掘体験に必要な道具

砂金の採掘体験をするためには道具が必要ですが、日本古来の砂金掘り伝統道具があり、現地でレンタル出来るようです。

- ・カッチャ
川底の深いところまで砂をすくえる専用のスコップ
- ・ゆり板
砂金をより分ける窪んだまな板のような板
- ・パンニング
砂金をより分ける丸い皿ですが、これは海外で採用されている道具
- ・特長
膝上までカバーする防水長靴
- ・赤布
採れた砂金を包んでおくものですが、この上に砂金を置くと目立ちます
- ・手袋
園芸や水仕事用のひじまである手袋があれば、手が濡れて、ふやけることはありません

「紅葉狩り」

秋が一段と深まると、野山が色づいた木々で赤や黄色に染め上げられます。



こんなに美しい紅葉が見られるのは、世界中でも日本が一番とのこと。「狩る」といっても「ぶどう狩り」や「きのこ狩り」と違い、枝葉を切ったりはしません。

「紅葉狩り」とは紅葉を觀賞することです。もともとは、平安時代の貴族の間で、紅葉を見物しながら宴を開き、その美しさを和歌に詠んで勝負する「紅葉合」が流行したことから紅葉狩りが始まったそうです。

狩猟をしない貴族の間では、草木を眺め自然を愛でることを狩りに例えたと言われています。「狩る」という言葉は「花や草木を探し求める」という意味です。

その後、江戸時代から庶民にも広がり季節行事として定着しました。

11月の税務と労務

- ・国税/10月分源泉所得税の納付 11月10日
- ・国税/所得税予定納税額の減額承認申請 11月15日
- ・国税/所得税予定納税額第2期分の納付 11月30日
- ・国税/9月決算法人の確定申告(法人税・消費税等)、3月決算法人の中間申告 11月30日
- ・国税/12月、3月、6月決算法人の消費税等の中間申告(年3回の場合) 11月30日
- ・国税/個人事業者の消費税等の中間申告(年3回の場合) 11月30日
- ・地方税/個人事業税第2期分の納付
都道府県の条例で定める日

12月の税務と労務

- ・国税/給与所得者の年末調整
今年最後の給与を支払う時
- ・国税/給与所得者の扶養控除等(異動)申告書及び保険料控除申告書の提出
今年最後の給与を支払う前日
- ・国税/11月分源泉所得税の納付 12月12日
- ・国税/10月決算法人の確定申告(法人税・消費税等) 1月4日
- ・国税/4月決算法人の中間申告 1月4日
- ・国税/1月、4月、7月決算法人の消費税等の中間申告(年3回の場合) 1月4日
- ・地方税/固定資産税・都市計画税(第3期)の納付
市町村の条例で定める日
- ・労務/健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届
支払後5日以内